

宇都宮市立平石北小学校第4・5学年児童質問紙調査

★傾向

【5年】

- ・「家で、自分で計画を立てて勉強している」の肯定的な回答の割合は、市の肯定的な回答の割合を23.8ポイント上回っている。本校児童は進んで家庭学習に取り組んでいる。家庭学習の内容は、宿題や授業の予習・復習が主である。
- ・「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」「地域や社会などボランティア活動に参加したことがある」の肯定的な回答の割合が、ともに市の肯定的な回答の割合を約10ポイント下回っている。地域の行事など、進んで参加できるように児童に呼びかけるとともに、保護者へ働きかけていく必要がある。

【4年】

- ・「家で宿題をきちんとやっている」については、ほぼ全員が取り組むことができおり、市の平均をやや上回っている。
- ・「自分はクラスの人の役に立っていると思う」という意識が市の割合を18ポイント下回っている。一人一人が認められる雰囲気をつくっていく必要がある。
- ・「家の人と学校のできごとについて話をしている」「家の人としょう来のことについて話すことがある」「家の人は、あなたがほめてもらいたいことをほめてくれる」の回答の割合が市の割合を下回っている。家庭の協力を得る必要がある。